－参考資料－

モニュメント（河童石像）を使用した水位情報の提供

『洪水時にモニュメントが水没すると河川水位がどの程度にあるか一目で把握できます。』

山形河川国道事務所では、洪水時の水位状況を容易に確認出来る手法としてモニュメントを使用した水位情報の提供を実施しました。
水防団待機水位・はん濫注意水位等の高さに河童石像を設置し、親しみやすくわかりやすい水位情報の提供を行いました。地域に親しまれる水位状況がわかるモニュメントを設置することで、住民の皆さんが河川に親しみを持ち自分の目で水位状況が把握でき自主的な避難や地域及び水害対応に役立てていただくものです。
また、住民の方々が、平時にモニュメントを目にすることにより河川に愛着がわくとともに、洪水災害に対する危機意識の高揚を図ることができます。

【設置位置】
〇糠野目水辺の楽校

【モニュメントについて】
〇糠野目水辺の楽校には河童の石像が水位表示に合わせ４つ設置されてます。
①公園管理水位（Ｈ１４設置）
②水防団待機水位（今回設置）
③はん濫注意水位（今回設置）
④はん濫危険水位（Ｈ１５設置）

〇糠野目水辺の楽校がある高畠町は河童にちなんだ伝説や祭りがあり、河童がシンボルとなっています。

〇今回設置したかっぱ石像
かっぱの石像は、地元小学校である糠野目小学校の図画を基にデザインされています。かっぱの名前も糠野目小学校の児童が考えたものです。

※はん濫注意水位の河童（兄）：立って”きゅうり”を抱えて喜んでいる河童

※水防団待機水位の河童（弟）：座って詫証文を書いて反省している河童

公園管理水位　：公園内のトイレ・遊具を撤去するために準備する体制の目安となる水位です。

水防団待機水位：水防団が水防活動を始めるための準備する目安となる水位です。

はん濫注意水位：降雨などにより水位が上昇し、法崩れ・洗掘・漏水などの災害の発生するおそれがある水位です。
水防団が活動を始めるための目安となる水位です。

はん濫危険水位：溢水・氾濫等により重大な災害が起こるおそれがある水位です。